

日本計量生物学会(Biometric Society of Japan)は1980年9月に設立された学会で、国際計量生物学会(IBM, International Biometric Society)の日本支部(Japanese Region)としての機能も有しています。その前身は IBM の小規模の日本支部として1953年に発足された Japanese Group です。

日本計量生物学会 設立趣意書

日本計量生物学会は、生物学・医学・農林水産学・生態学・環境科学などの諸分野の研究を、計量的・数学的・統計的手法を用いて推進するとともに、そのような研究手法の普及、関連研究者相互の交流を推進し、かつ、外国の研究団体との連絡を密にすることを目的としています。

このような手法を研究する学問を、従来は生物統計学、生物測定学、バイオメトリックスなどと呼んでいましたが、最近の計量的・数学的手法のめざましい発展にかんがみ、本会は「計量生物学」と呼称することにいたします。この分野の研究者はきわめて学際的で、その進歩発展は、将来の人類の生存と遺伝に重要な関係を持つとの認識から、米国や西欧では最近研究者の数も研究論文の数も急増していますが、残念ながらわが国ではまだ十分な関心をもたれていないと思われまます。

国際計量生物学会 The Biometric Society は、国際連合 International United of Biological Sciences の Biometric Section として1948年に発足して以来、2、3年おきに国際研究集会 International Biometric Conference を開催するとともに、年4回研究論文誌 Biometrics を発行してきました。

現在の会員数は、米国の2,200名、英国360名、ドイツ330名、カナダ180名、フランス150名、オーストラリア140名、スイス130名、イタリー100名、日本220名などを含めて総計約5,000名です。

この国際計量生物学会の機関誌 Biometrics の購読者によって1953年に Japanese Group が結成されましたが、これが発展して1979年からは同学会の Japanese Region となるとともに日本国内でも独自の研究活動を行なおうとしています。

このような学際的分野の研究は、専門の異なる研究者の相互交流なしには有意義な発展をしないと考えるので、関心のある方々が奮って会員になられることをお勧めする次第です。

歴代年次大会

1981年	1981年4月18日(土)	統計数理研究所
1982年	1982年4月17日(土)	統計数理研究所
1983年	1983年4月15日(土)	統計数理研究所
1984年	1984年4月20日(土)	統計数理研究所
1985年	1985年4月20日(土)	統計数理研究所
1986年	1986年4月25日(金)	統計数理研究所
1987年	1987年4月25日(土)	統計数理研究所
1988年	1988年4月22日(金)	統計数理研究所
1989年	1989年4月22日(金)	統計数理研究所
1990年	1990年4月20日(金)	丸の内センタービル 20階大会議室
1991年	1991年4月20日(土)	丸の内センタービル 20階大会議室
1992年	1992年4月24日(金)	丸の内センタービル 20階大会議室
1993年	1993年4月23日(金)	統計数理研究所
1994年	1994年4月22日(金)	統計数理研究所
1995年	1995年4月21日(金)・22日(土)	国立公衆衛生院講堂
1996年	1996年4月25日(木)・26日(金)	慶應義塾大学医学部北里講堂
1997年	1997年4月24日(木)・25日(金)	東京大学農学生命研究科1号館第8講義室
1998年	1998年5月12日(火)・13日(水)	中央大学駿河台会館
1999年	1999年5月6日(木)・7日(金)	総評会館
2000年	2000年5月11日(木)・12日(金)	総評会館
2001年	2001年4月5日(木)・6日(金)	総評会館
2002年	2002年9月8日(日)・10日(火)	明星大学ー連合大会ー
2003年	2003年9月3日(水)・5日(金)	名城大学ー連合大会ー
2004年	2004年9月4日(金)・6日(月)	富士大学ー連合大会ー
2005年	2005年9月12日(月)・15日(木)	広島プリンスホテルー連合大会ー
2006年	2006年9月5日(火)・8日(金)	東北大学ー連合大会ー
2007年	2007年9月6日(木)・9日(日)	神戸大学ー連合大会ー
2008年	2008年6月4日(水)・5日(木)	筑波大学
2009年	2009年9月6日(日)・9日(水)	同志社大学ー連合大会ー
2010年	2010年5月21日(金)・22日(土)	統計数理研究所
	2010年9月5日(日)・8日(水)	早稲田大学ー連合大会ー

国際計量生物学会議 International Biometric Conference

第12回 (IBC1984)	1984年9月2日～8日	京王プラザホテル
第26回 (IBC2012)	2012年8月26日～31日	神戸国際会議場 (予定)

シンポジウム

- 第1回 2002年5月24日(金) 京都府民総合交流プラザ京都テルサ
医学・生物学的リスクの評価
- 第2回 2003年5月27日(火) 統計数理研究所
生命情報科学
- 第3回 2004年5月27日(木) 久留米大学筑水会館
計量生物学の研究者・教育者のニューフロンティア
- 第4回 2005年5月21日(土) 慶応義塾大学理工学部 矢上キャンパス創想館
個体差への挑戦
- 第5回 2006年5月25日(木) 国立保健医療科学院
複雑な観察データの解析
- 第6回 2007年5月26日(土) 昭和女子大学
環境・医療・医薬におけるリスク評価と管理
- 第7回 2008年9月8日(日)～10日(水) 慶應義塾大学
医薬品の有効性・安全評価のためのカウントデータの統計解析
- 第8回 2009年9月7日(月)～9日(水) 同志社大学
感染症対策における計量生物学の貢献

計量生物学セミナー

- 第1回 1993年11月12日・13日 文部省共済箱根静雲荘
同等性の評価
- 第2回 1994年12月4日・5日 富士教育研修所
医学と統計学の対話ー用量反応情報をめぐってー
- 第3回 1995年10月28日・29日 富士教育研修所
臨床試験におけるプロトコル逸脱例の諸問題ーDNA多型と計量形質解析
- 第4回 1996年11月9日・10日 富士教育研修所
[臨床の部] 臨床検査値の諸問題
[生物の部] 分子系統樹と生物進化
- 第5回 1997年10月3日・4日 富士教育研修所
[医学の部] 中間解析
[生物の部] 保全生物学をめぐる最近の話題
- 第6回 1998年10月16日・17日 富士教育研修所
[臨床の部] ICH-E9ガイドラインー臨床試験のための統計的原則ーを巡って
[生物の部] 生物形態測定学の最前線ー「かたち」を見る数理のまなざしー
- 第7回 1999年10月15日・16日 富士教育研修所
[臨床の部] ブリッジング評価に関する統計学的考察・EBM時代の臨床統計学
[生物の部] 生物情報のデータマイニングーゲノムから群集へ

- 第8回 2000年11月10日・11日 富士教育研修所
 [臨床の部] 臨床評価における評価尺度の妥当性と信頼性
 [生物の部] 生物学的諸問題への現代統計学的アプローチ:パラメトリック,ノンパラメトリック,計算機統計学
- 第9回 2001年10月12日・13日 富士教育研修所
 [臨床の部] 医薬品開発における薬物動態および薬力学の特徴づけと民族間の類似性
 [生物の部] Bioinformatics:ゲノム情報による遺伝子の探索、機能予測、集団構造と進化の推定
- 第10回 2005年9月21日・22日 富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ神戸
 臨床評価における統計学上の論点
- 第11回 2006年12月7日・8日 富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ神戸
 ① 臨床試験における多重性と検証方法
 ② 適応的デザイン
 ③ 検証について
 ④ QT延長を評価する試験デザインと統計的評価
- 第12回 2007年12月11日 東京大学農学部弥生講堂
 国際共同試験にかかわる諸問題
- 第13回 2008年12月6日 東京大学薬学部講堂
 臨床試験におけるベイズ統計の活用

チュートリアルセミナー

- 第1回 2002年5月24日(金) 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ
 メタ・アナリシス-エビデンスの統合をめざす統計手法(丹後俊郎)
- 第2回 2003年5月27日(火) 統計数理研究所
 疫学・臨床研究における因果推論(佐藤俊哉,松山裕)
- 第3回 2004年5月26日(水) 久留米大学筑水会館
 BUGSによるベイズ統計学入門(繁柘算男,大森拓哉,森一将)
- 第4回 2005年5月20日(金) 慶応義塾大学理工学部 矢上キャンパス創想館
 混合モデル(山口拓洋)
- 第5回 2006年5月26日(金) 国立保健医療科学院
 Rによる生物統計解析(中澤港)
- 第6回 2007年5月25日(金) 昭和女子大学
 疫学研究のデザインと曝露効果の推定(佐藤俊哉)
- 第7回 2008年6月6日(金) 筑波大学
 医薬品開発における統計学の活用:用量反応情報と臨床試験の計画及び解析~第1相から第3相まで(上坂浩之)
- 第8回 2009年11月28日(土) 京都大学医学部
 ゲノムデータ・オミックスデータを解析するための新しい統計方法と機械学習の方法(江口真透)

第9回 2010年5月21日(金) 統計数理研究所
統計思考と分類思考:Rを用いた分類パターンの認識
(三中信宏)

特別講演会

- 2004年11月30日(火) 統計数理研究所
Bayesian Inference and WinBUGS (David Spiegelhalter)
- 2005年11月24日(木) 統計数理研究所
バイオテロリズムの兆候監視のための統計的方法 (M.Kulldorff, 丹後俊郎)
- 2007年1月12日(金) 東京大学大学院薬学系研究科・総合研究棟
Randomization in Clinical Trials (William F. Rosenberger)
- 2009年7月9日(木) 京都大学医学部芝蘭会館山内ホール
Benefit : Risk assessment (Scott Evans)
Longitudinal and incomplete data in clinical studies (Geert Molenberghs)
- 2009年11月27日(金) キャンパスプラザ京都
Causal Inference for Randomized Clinical Trials : Accommodating (i) Secondary Interventions and (ii) Treatment-Related Side Effects (N. P. Jewell)
- 2010年1月19日(火) 東京大学大学院薬学系研究科総合研究棟
Statistical Modeling in Oral Health Research (Emmanuel Lesaffre)
- 2010年7月29日(木) キャンパスプラザ京都
Bayesian approach to planning and analysis of clinical trials (Andrew P. Grieve)

International Biometric Society (IBS) 役員

Council Member	志方守一	(1980-1981)	
	井山審也	(1980-1983)	
	林 知己夫	(1982-1985)	
	山本俊一	(1982-1985)	
	浅井 晃	(1986-1989)	
	鈴木 茂	(1986-1989)	
	駒澤 勉	(1988-1991)	
	正法地孝雄	(1988-1995)	
	柳川 堯	(1990-1993, 1996-1999)	
	佐久間 昭	(1992-1995)	
	佐藤俊哉	(1994-1998, 2002-2009)	
	三中信宏	(2000-2003)	
	松山 裕	(2009-2012)	
	Editorial Advisory Committee	竹内 啓	(1981-1989)
		吉村 功	(1990-1998)
大橋靖雄		(1999-2009)	
Financial Committee	柳川 堯	(1998-2006)	
Conference Advisory Committee	吉村 功	(2000-2003)	
	佐藤俊哉	(2008-2011)	
Education Committee	岸野洋久	(2007-2010)	
Committee on Communications	岩崎 学	(2006-2009)	
Biometrics Associate Editor	奥野忠一	(1980-1984)	
	大橋靖雄	(1990, 2004-2005)	
	伊藤孝一	(1990-1993)	
	柳川 堯	(2001-2003)	